

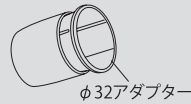
遮断機式手すりブラケットN 施工説明書

BF-21

遮断機式手すりブラケットNは手すりを連続して取付けるための部材です。安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。

施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- 木製手すりと連続してご使用される場合は必ず35シリーズ・32シリーズのブラケットを、ご使用ください。
- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。φ32をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。



- ブラケットピッチは φ35の場合、900mm以内 φ32の場合、700mm以内 で取付けてください。
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は、壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えてください。
- 40°を超える傾斜部では、ご使用にならないでください。
- 傾斜部でご使用になる場合は、軸側ブラケット横受けが必ず傾斜下部になるよう設置してください。
- 軸側ブラケット横受けは、使用時に手すり棒が急落下しない回転の硬さに設定しています。取付け時に回転させる場合には両側に手すり棒を差込んで回転させてください。



警告
 !外開き扉部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。
 !この商品は手すり棒先端のキャッチソケットが受側ブラケットに確実にセットされている時に強度が保持されます。受側ブラケットにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
 !受側ブラケットから外された時に手前に引っ張るなどの力がかかると壊れる恐れがありますので絶対にしないでください。
 !軸側ブラケット横受けに潤滑剤を塗布されますと作動不良の原因となりますので絶対にしないでください。

■遮断機式手すりブラケットN[BF-21] 梱包部品図

1 受側ブラケット 左右兼用タイプ 六角穴付きM6ボルト ラッチソケット ハネ座金 脚金具 ラッチソケットキャップ 図は右勝手	2 軸側ブラケット横受け 左右兼用タイプ 注意シール ※棒を差し込むと動きます。 ※L字に折り曲げた状態で梱包されています。 ※注意シールは施工後はがしてご使用ください。	3 キャッチソケット 	4 エンドキャップ
5 φ32アダプター ※出荷時は受側ブラケット、軸側ブラケット横受け、キャッチソケットにセットされています。	6 スペーサー 厚さ 4mm	7 ブラケット取付けねじ ※取付の際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タビソネじ3.5×40	8 手すり取付けねじ ※取付けの際にはφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タビソネじ3.5×20

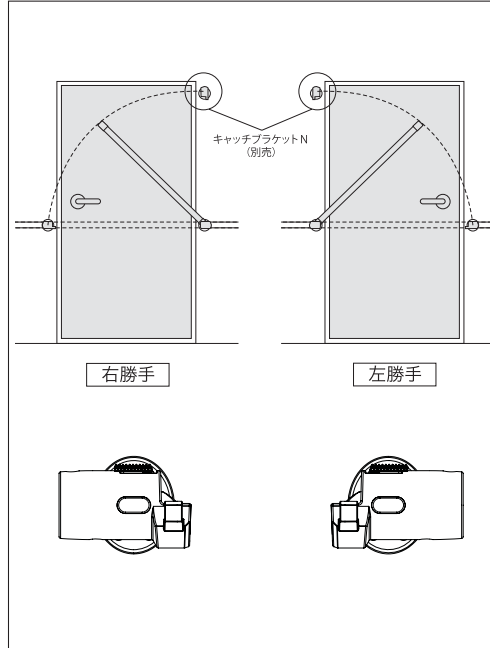
■遮断機式手すりブラケットN[BF-21] 梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	受側ブラケット(ラッチソケット・脚金具)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
	受側ブラケット(ラッチソケットキャップ)	POM	1個
2	軸側ブラケット横受け	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
3	キャッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
4	エンドキャップ	A B S	2個
5	φ3 2アダプター	A B S	4個
6	スペーサー	A B S	2個
7	ブラケット取付けねじ ⊕丸皿タビソネじ3.5×40	鉄製	8本
8	手すり取付けねじ ⊕丸皿タビソネじ3.5×20	鉄製	7本

■遮断機式手すりキャッチブラケットN[BF-23] (別売) 梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	受側ブラケット(ラッチソケット・脚金具)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
	受側ブラケット(ラッチソケットキャップ)	A B S	1個
2	エンドキャップ	A B S	1個
3	スペーサー	A B S	1個
4	ブラケット取付けねじ ⊕丸皿タビソネじ3.5×40	鉄製	4本

■遮断機式手すりブラケットN 取付け勝手参考図



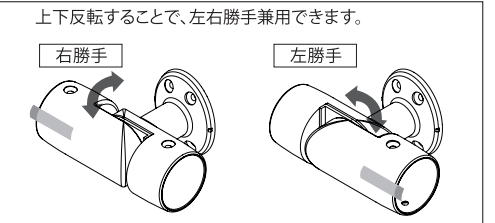
■受側ブラケット 組立て手順

取付け勝手に合わせて受側ブラケットを組立ててください。
 ※対辺5の六角レンチをご用意ください。

- ①左右勝手を決めます
- ②脚金具を六角穴付きM6ボルトで固定します
- ③ラッチソケットキャップを嵌めます

注意 六角穴付きM6ボルトは確実に締め込んでください。確実に締め込めていない場合、使用時ケガにつながる恐れがあります。

■軸側ブラケット横受け外観図



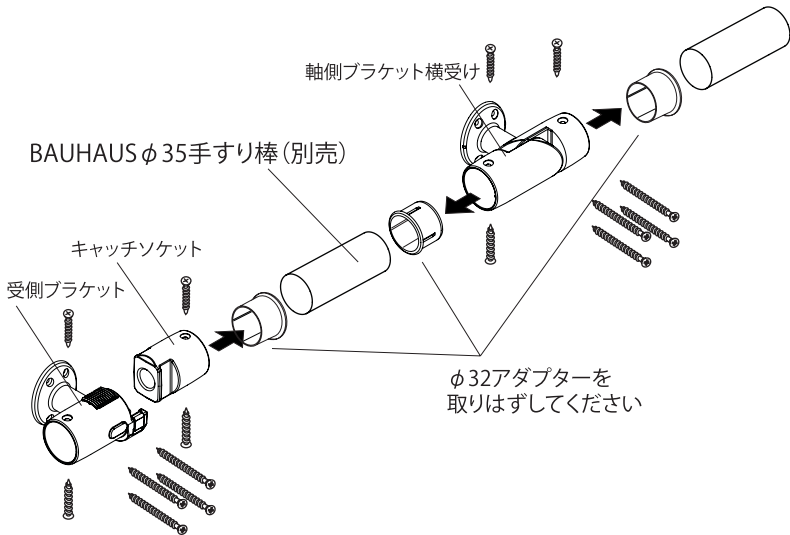
お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

施工手順

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

■ φ35手すり棒を取付ける場合

※図は右勝手

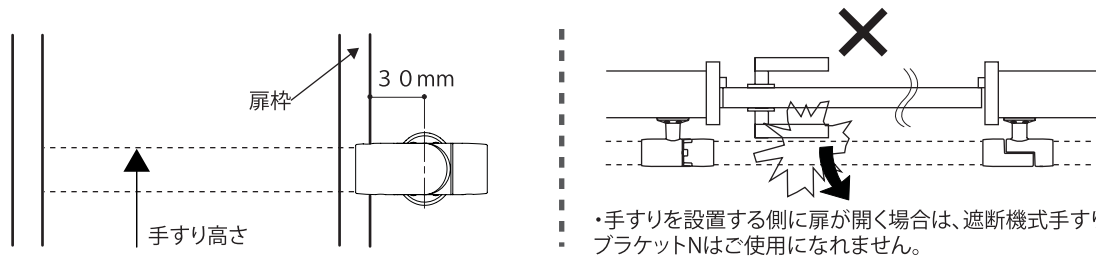


1. 軸側ブラケット横受けを取付けます。

扉枠からブラケットのセンターピッチで30mm以上取ってください。

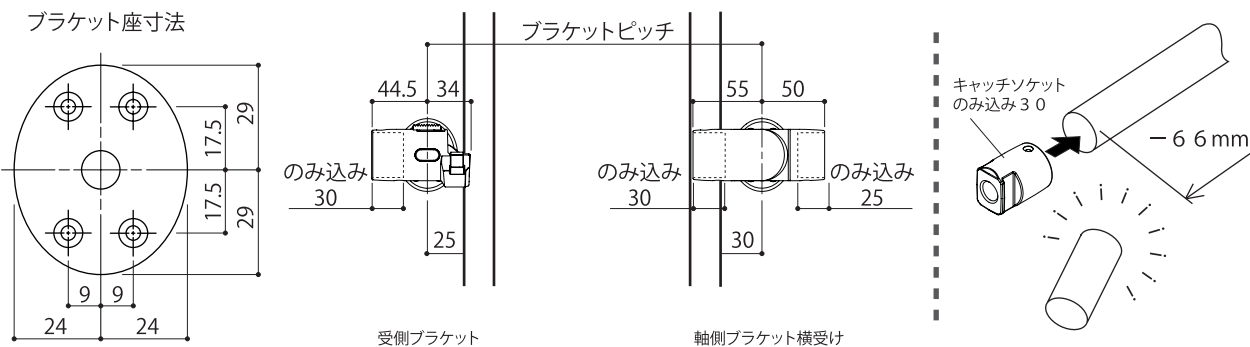
注) 手すりを設置する側に扉が開く場合は、閉じ込めの原因となりますので、遮断機手すりブラケットNはご使用にならないでください。

注) 廊下等の横手すりと連続で使用される場合は、その高さに合わせてください。



2. 手すり棒をカットします。(手すり棒長さ=ブラケットピッチから、-66mm)

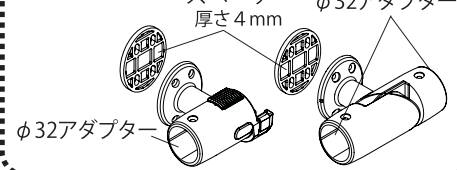
カットした後キャッチソケットを差し込みます。ねじ止めはまだしないでください。



■ φ32手すり棒を取付ける場合

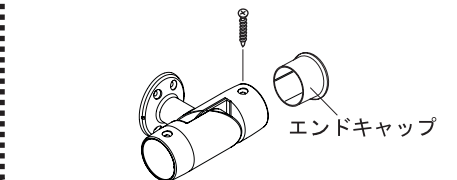
● φ32アダプターを外さないでください

● 連続手すり側にBAUHAUS φ32手すり棒を使用する場合はスペーサーをご使用ください。スペーサー 厚さ4mm φ32アダプター



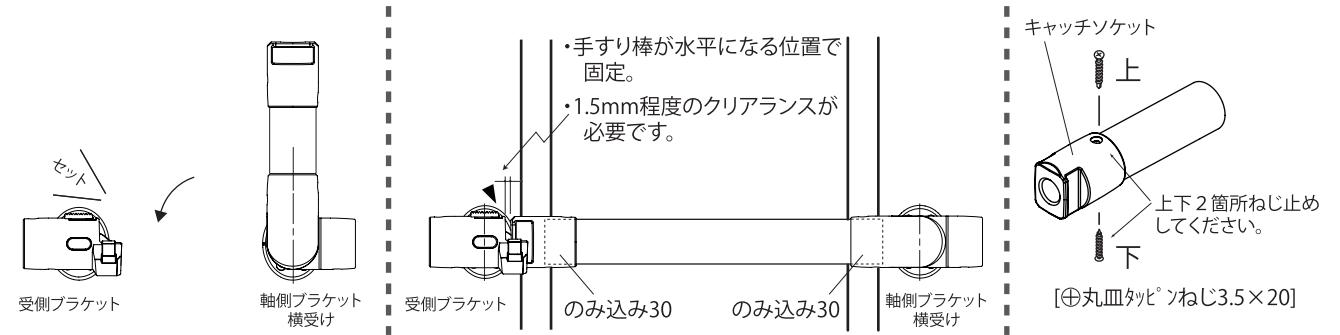
■ 連続手すりとして使用されない場合

● エンドキャップの脱落防止のため、必ずねじ止めしてください。



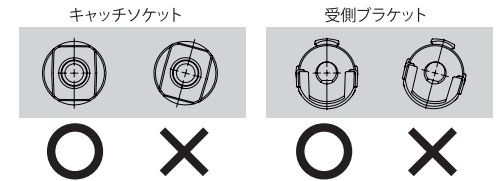
3. 受側ブラケットを取付けます。

軸側ブラケット横受けに手すり棒を差し込み、受側ブラケットにキャッチソケットをセットします。受側ブラケットを壁に当てて手すり棒が水平になる位置でねじ止めします。



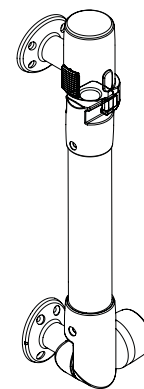
◎ 受側ブラケットを取付けた後、キャッチソケットと軸側ブラケット横受けに、手すり棒をねじ止めます。キャッチソケットと受側ブラケットは、1.5mm程度のクリアランスを取ってください。

◎ 注) キャッチソケットと受側ブラケットは必ず垂直にセットしてください。斜めにセットするとラッチの噛み込みなどの誤動作の原因となります。

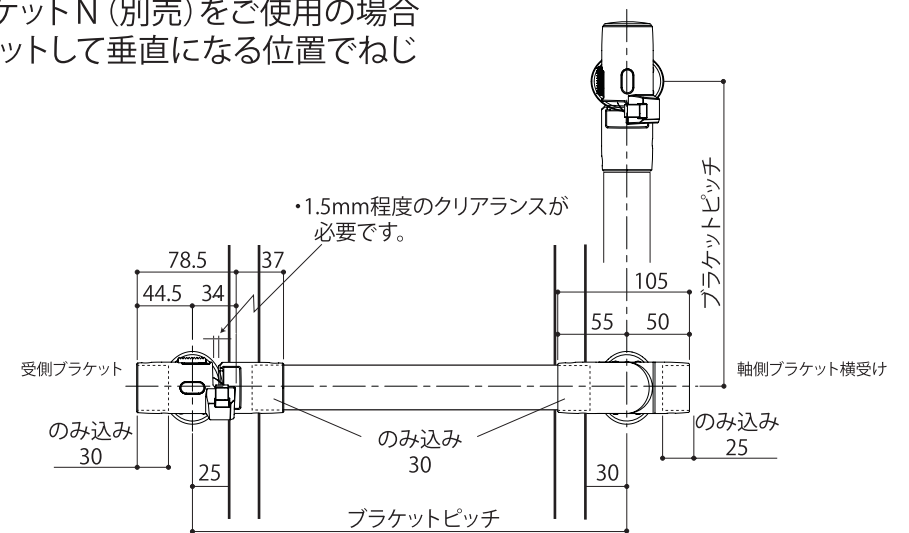


■ 遮断機式手すりキャッチブラケットN (別売) をご使用の場合

手順3と同様に手すり棒をセットして垂直になる位置でねじ止めしてください。



手すり棒が垂直になる位置



お問い合わせ先

マツ六株式会社
 商品企画部
 〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
 TEL.06-6774-2255 FAX.06-6774-2248
<http://www.mazroc.co.jp>